

富山県内の中小企業動向調査
ファーストTrend

2025年7月号

—— — — — — **CONTENTS** —— — — — —

1. 中小企業動向調査 [2025年4～6月実績/2025年7～9月見込/10～12月予測]
 2. トランプ米政権の関税について
- — — — —

中小企業動向調査（2025年6月末日基準）

この調査は、富山県内企業406社からのアンケート結果をまとめたものです。
企業の調査資料として、2025年4月～6月の実績、2025年7月～9月の見込、2025年10月～12月の先行き見通しを
集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
406（643）
うち、製造業87社、非製造業319社

調査時期：2025年7月

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2025年7月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2025年夏」によると、「最終需要において個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、持ち直している。公共投資は、増加している。生産は、弱めの動きとなっている。業種別にみると、医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。汎用・生産用・業務用機械は、下げ止まりつつある。電気機械、金属製品は、弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。」とあります。富山県内の中小企業の景気は、一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復しているとみられています。

I. 企業業況

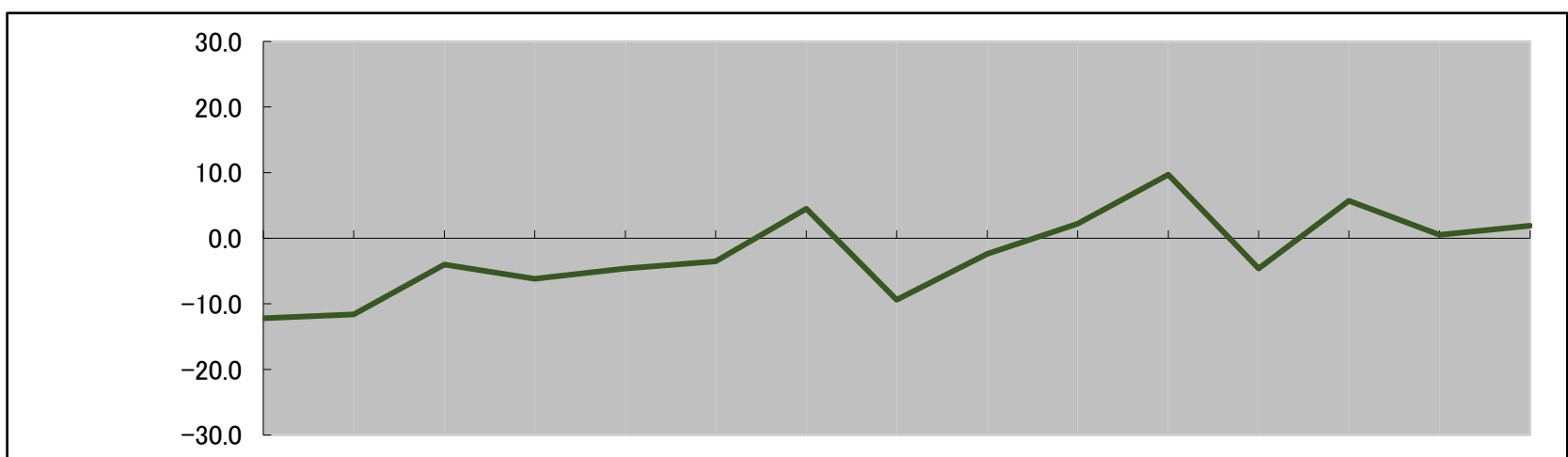
（小数点第2位を四捨五入）

企業業況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

種別	期別	2022			2023				2024				2025			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	27.9	20.6	22.9	17.0	15.0
普	通	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	53.9	54.2	59.9	66.5	71.9
悪	い	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	23.9	19.7	28.0	22.8	21.5	18.2	25.2	17.2	16.5	13.1
D	I	-12.2	-11.6	-4.0	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	9.7	-4.6	5.7	0.5	1.9



富山県内の中小企業の業況を全産業でみると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、プラス5.7となり、前回比10.3ポイント改善し、2024年10～12月以来のプラス圏内に上昇しました。米国の通商政策の影響などの懸念事項に一定の方向性が示されたことで一服感がみられると推察されます。

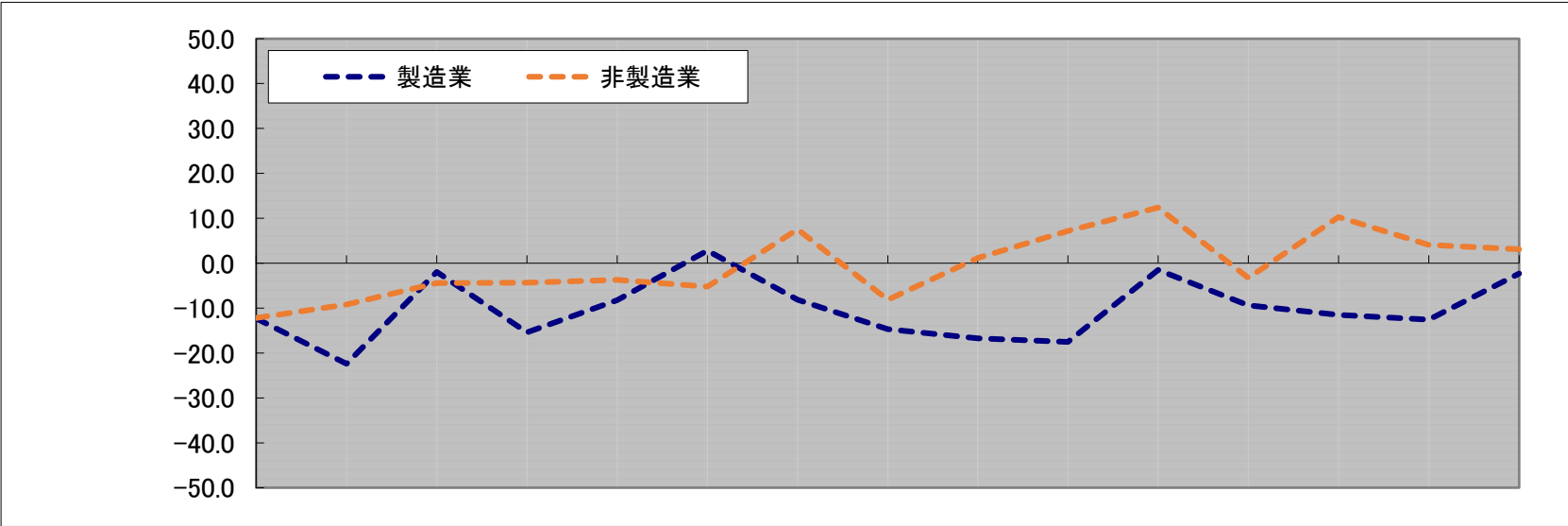
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）（小数点第2位を四捨五入）

(%)														見込	予測	
		2022			2023				2024				2025			
		4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
良	い	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	28.8	25.0	20.7	13.8	16.1
普	通	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	40.9	40.6	47.1	59.8	65.5
悪	い	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	30.3	34.4	32.2	26.4	18.4
D	I	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-1.5	-9.4	-11.5	-12.6	-2.3

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）（％）

(%)														見込	予測	
		2022			2023				2024				2025			
		4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
良	い	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	27.6	19.6	23.5	17.9	14.7
普	通	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	57.2	57.5	63.3	68.3	73.7
悪	い	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	15.2	22.9	13.2	13.8	11.6
D	I	-12.2	-9.2	-4.4	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	12.4	-3.3	10.3	4.1	3.1



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス11.5となり、前回比2.1ポイントの悪化となりました。引き続き、米国の関税政策により製造業の輸出意欲が冷え込んでいるのではないかと推察されます。非製造業ではプラス10.3となり、前回比13.6ポイント改善しました。非製造業では2025年4月以降の業況D.I.はプラス圏内を推移する予想です。業種別にみると、建設業において改善傾向にあります。

Ⅱ. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

売上高状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
増加	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	32.1	24.5	27.1	20.4	18.7
横ばい	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	52.1	50.3	58.6	66.5	69.5
減少	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	15.8	25.2	14.3	13.1	11.8
D . I .	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	16.3	-0.7	12.8	7.3	6.9

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

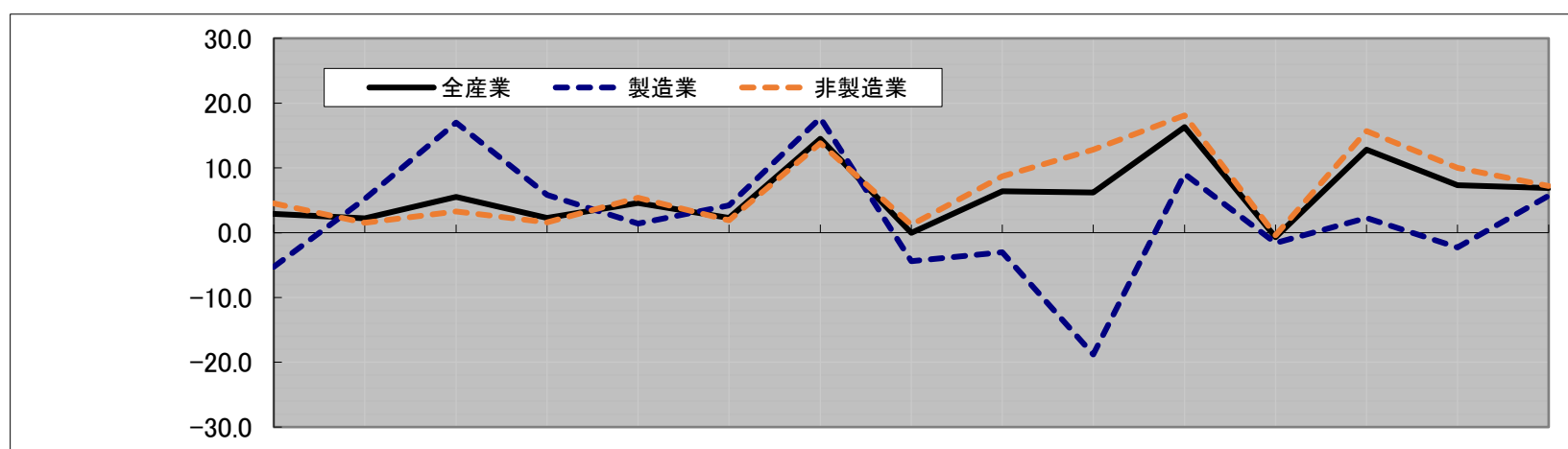
	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
増加	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	28.8	23.4	26.4	18.4	21.8
横ばい	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	51.5	51.6	49.5	60.9	62.1
減少	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	19.7	25.0	24.1	20.7	16.1
D . I .	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	9.1	-1.6	2.3	-2.3	5.7

売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
増加	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	32.9	24.8	27.3	21.0	17.9
横ばい	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	52.3	50.0	61.1	68.0	71.4
減少	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	14.8	25.2	11.6	11.0	10.7
D . I .	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	18.1	-0.4	15.7	10.0	7.2



売上高D.I.は全産業ではプラス12.8となり、前回比13.5ポイント改善しました。2025年7月以降もプラス圏内での推移となる予想です。

製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではプラス2.3となり、前回比3.9ポイント改善しました。2025年7～9月は悪化傾向、2025年10～12月は改善する予想となっています。

非製造業はプラス15.7となり、前回比16.1ポイント改善しました。業種別にみると、小売業、サービス業において改善傾向にあります。

Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込

予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
不 足	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	5.8	7.6	5.9	6.7	5.4
適 正	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	89.4	87.0	88.2	88.9	91.9
過 剰	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	5.4	5.9	4.4	2.7
D . I .	8.4	7.6	6.1	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	1.0	2.2	0.0	2.3	2.7

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
不 足	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	1.5	6.3	5.7	9.2	4.6
適 正	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	86.4	85.9	84.0	82.8	90.8
過 剰	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	12.1	7.8	10.3	8.0	4.6
D . I .	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-10.6	-1.5	-4.6	1.2	0.0

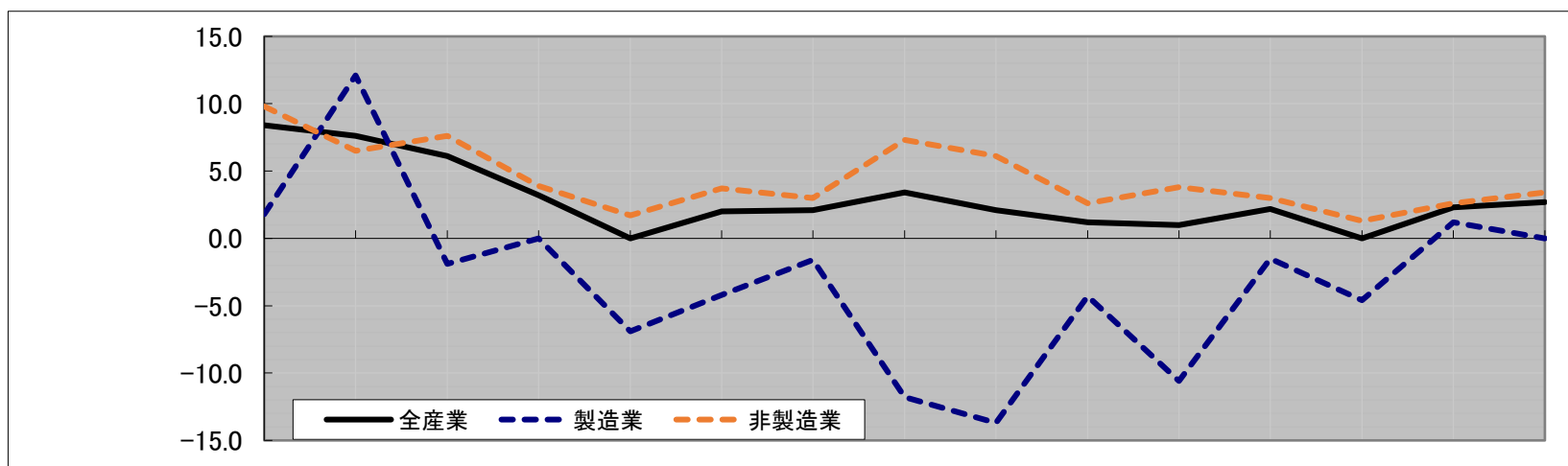
製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
不 足	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	6.8	7.9	6.0	6.0	5.6
適 正	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	90.2	87.2	89.3	90.6	92.2
過 剰	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	4.9	4.7	3.4	2.2
D . I .	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	3.8	3.0	1.3	2.6	3.4



製品在庫水準D.I.は0.0となり前回比2.2ポイント悪化しました。2025年7月以降はプラス圏内で推移する予想です。

製造業はマイナス4.6と前回比3.1ポイント悪化しました。2025年7月以降はプラス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス1.3と前回比1.7ポイント悪化しましたが、2025年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

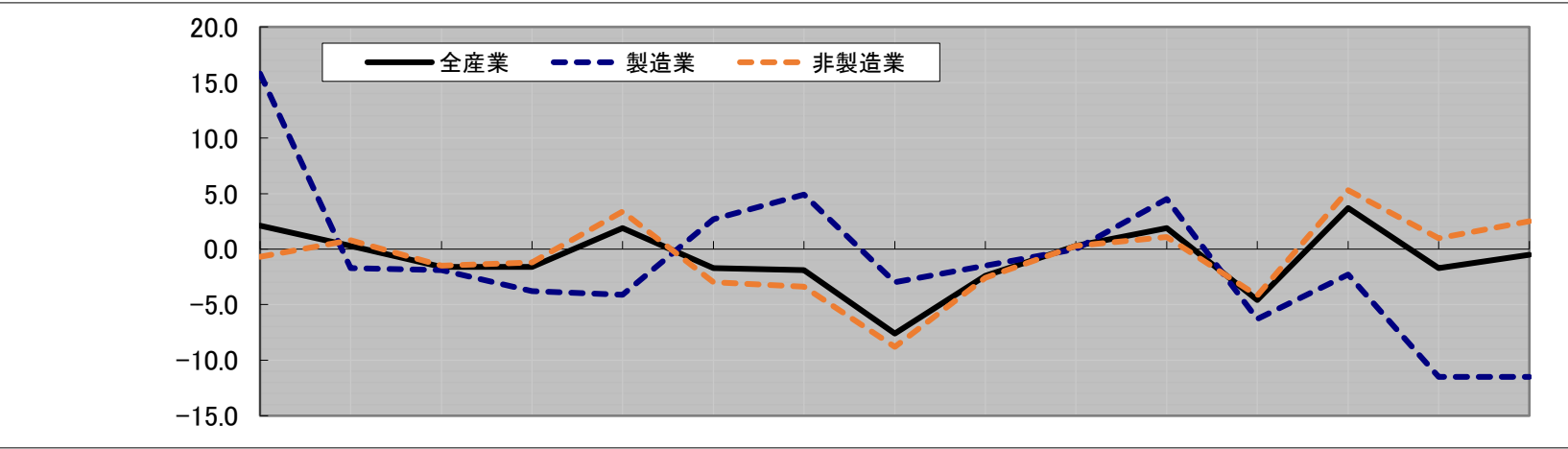
IV. 資金繰状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰状況の推移……（全産業）												（％）		見込	予測
	2022			2023			2024			2025					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	15.5	13.0	16.3	14.8	14.5
普通	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	70.9	69.4	71.1	68.7	70.5
厳しい	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	13.6	17.6	12.6	16.5	15.0
D . I .	2.1	0.3	-1.6	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	1.9	-4.6	3.7	-1.7	-0.5

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）												（％）		見込	予測
	2022			2023			2024			2025					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	13.6	10.9	13.8	10.3	10.3
普通	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	77.3	71.9	70.1	67.9	67.9
厳しい	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	9.1	17.2	16.1	21.8	21.8
D . I .	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	4.5	-6.3	-2.3	-11.5	-11.5

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）												（％）		見込	予測
	2022			2023			2024			2025					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	15.9	13.5	16.9	16.0	15.7
普通	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	69.3	68.8	71.5	69.0	71.1
厳しい	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	14.8	17.7	11.6	15.0	13.2
D . I .	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	1.1	-4.2	5.3	1.0	2.5



資金繰り状況D.I.は全産業でプラス3.7と前回比8.3ポイント改善しました。
製造業はマイナス2.3と前回比4.0ポイント改善しました。2025年7月以降もマイナス圏内で推移する予想です。
非製造業はプラス5.3と前回比9.5ポイント改善しました。2025年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。宿泊業、サービス業において改善傾向にあります。

V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
黒 字	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	45.1	41.5	46.1	41.1	44.3
収 支 ト ン ト ン	41.6	39.5	31.1	35.3	36.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	35.5	33.3	34.7	42.9	44.1
償 却 後 赤 字	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	19.4	25.2	19.2	16.0	11.6
D . I .	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	25.7	16.3	26.9	25.1	32.7

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

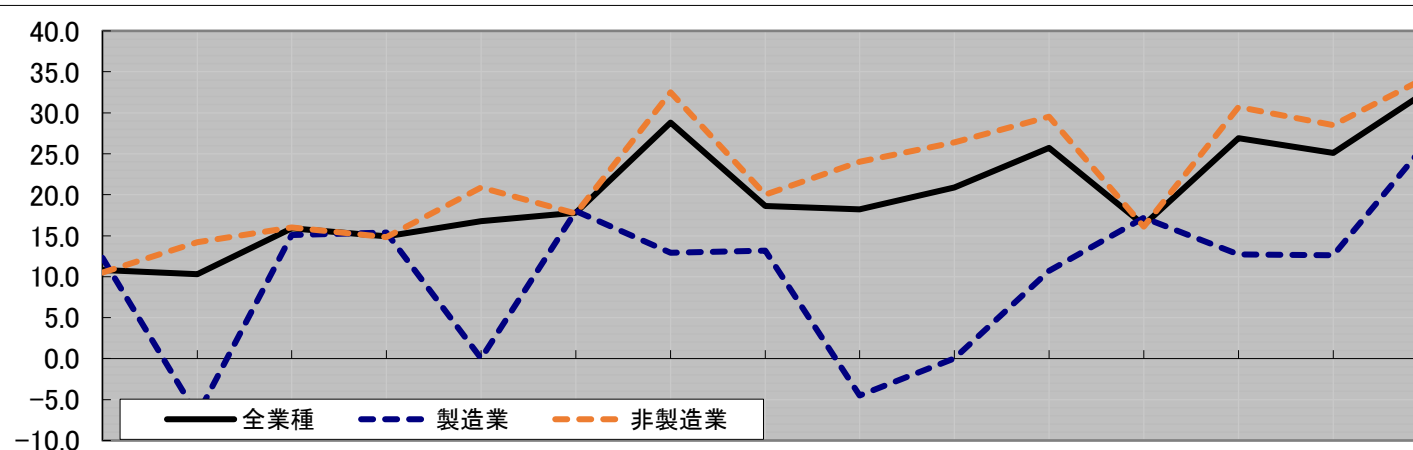
	2022			2023				2024				2025			
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
黒 字	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	33.4	46.9	41.4	35.6	41.4
収支トントン	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	43.9	23.4	29.9	41.4	43.7
償却後赤字	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	22.7	29.7	28.7	23.0	14.9
D I	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	10.7	17.2	12.7	12.6	26.5

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022			2023				2024				2025			
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
黒 字	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	48.1	40.2	47.3	42.6	45.1
収支トントン	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	33.3	35.7	36.1	43.3	44.2
償却後赤字	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	18.6	24.1	16.6	14.1	10.7
D I	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	29.5	16.1	30.7	28.5	34.4



全産業の利益状況D.I.はプラス26.9と前回比10.6ポイント改善しました。

製造業はプラス12.7と前回比4.5ポイント悪化しました。2025年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス30.7と前回比14.6ポイント改善しました。2025年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

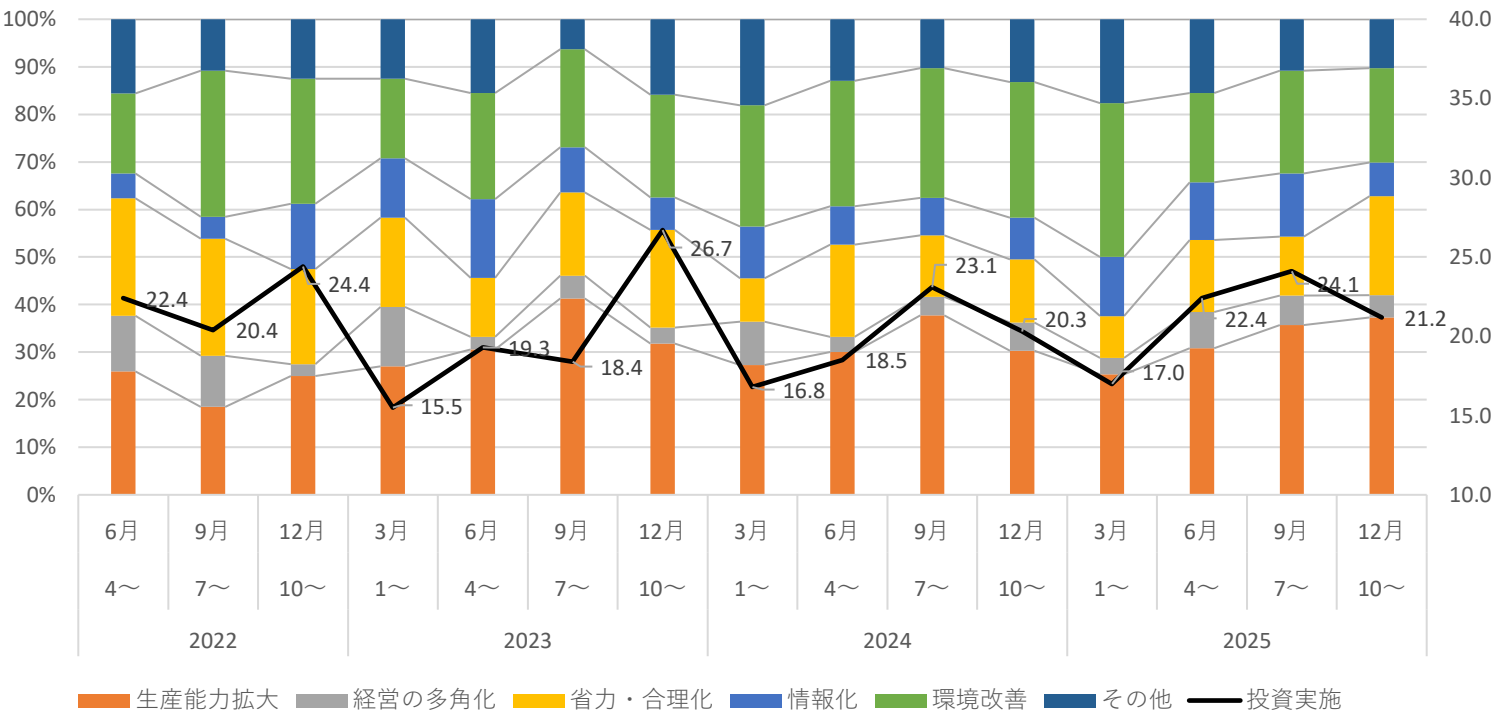
小売業、サービス業全般において改善傾向にあります。

VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

設備投資の有無													(%)				見込	予測
	2022			2023				2024				2025						
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～			
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月			
投 資 実 施	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	20.3	17.0	22.4	24.1	21.2			
投 資 せ ず	77.6	79.6	75.6	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	79.7	83.0	77.6	75.9	78.8			

設備投資の目的（実施先について）														見込	予測
	2022			2023				2024				2025			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産能力拡大	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	30.3	25.3	30.8	35.7	37.3
経営の多角化	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.9	3.5	7.6	6.2	4.7
省力・合理化	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.3	8.8	15.2	12.4	20.8
情 報 化	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	8.8	12.4	12.1	13.3	7.1
環 境 改 善	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	28.5	32.4	18.8	21.6	19.8
そ の 他	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	13.2	17.6	15.5	10.8	10.3



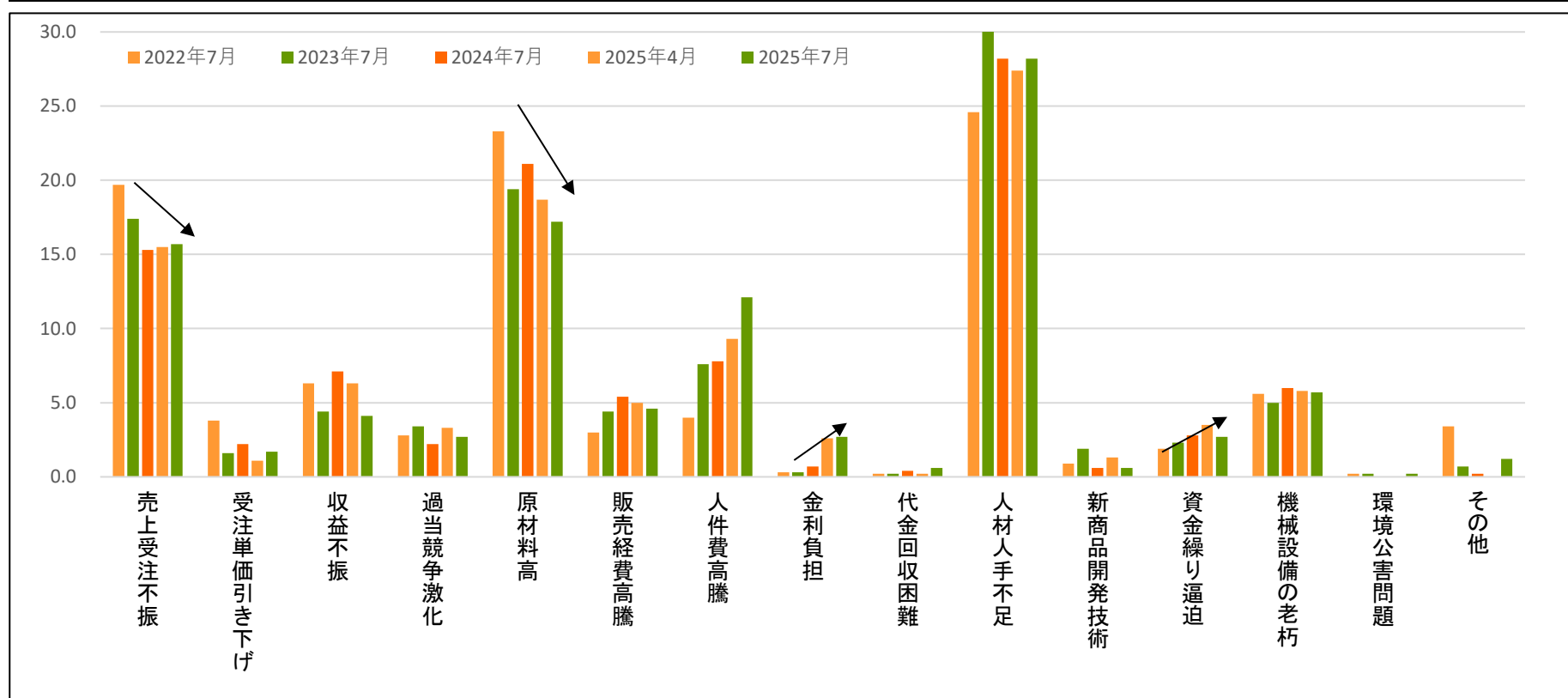
設備投資を実施した企業は22.4%となり、前回比5.4ポイント上昇しました。2025年7月以降の設備投資意欲は回復傾向と予想しています。

設備投資を実施した目的について、「生産能力拡大」は30.8%と前回比5.5ポイント上昇しました。「環境改善」は18.8%と前回比13.6ポイント下降しました。「省力・合理化」は15.2%と前回比6.4ポイント上昇しました。「情報化」は12.1%と前回比0.3ポイント下降しました。「経営の多角化」は7.6%と前回比4.1ポイント上昇しました。引き続き、「生産能力拡大」「環境改善」を目的とした設備投資動向が続くと推察されます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2022年7月 (3年前同月)	2023年7月 (2年前同月)	2024年7月 (前年同月)	2025年4月 (前回)	2025年7月 (今回)	前回比増減		
						(うち製造業)	(うち非製造業)	
売 上 受 注 不 振	19.7	17.4	15.3	15.5	15.7	21.4	14.1	0.2
受 注 単 価 引 き 下 げ	3.8	1.6	2.2	1.1	1.7	2.8	1.4	0.6
収 益 不 振	6.3	4.4	7.1	6.3	4.1	4.8	3.9	▲ 2.2
過 当 競 争 激 化	2.8	3.4	2.2	3.3	2.7	1.4	3.1	▲ 0.6
原 材 料 高	23.3	19.4	21.1	18.7	17.2	17.9	16.9	▲ 1.5
販 売 経 費 高 騰	3.0	4.4	5.4	5.0	4.6	3.4	4.9	▲ 0.4
人 件 費 高 騰	4.0	7.6	7.8	9.3	12.1	10.3	12.7	2.8
金 利 負 担	0.3	0.3	0.7	2.6	2.7	1.4	3.1	0.1
代 金 回 収 困 難	0.2	0.2	0.4	0.2	0.6	0.0	0.8	0.4
人 材 人 手 不 足	24.6	31.2	28.2	27.4	28.2	20.7	30.4	0.8
新 商 品 開 発 技 術	0.9	1.9	0.6	1.3	0.6	1.4	0.4	▲ 0.7
資 金 繰 り 逼 迫	1.9	2.3	2.8	3.5	2.7	2.8	2.7	▲ 0.8
機 械 設 備 の 老 朽	5.6	5.0	6.0	5.8	5.7	9.7	4.5	▲ 0.1
環 境 公 害 問 題	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
そ の 他	3.4	0.7	0.2	0.0	1.2	2.0	0.9	1.2



当面の経営上の問題点として前回より引き続き「人材人手不足」が最も多く28.2%となります。次いで高い項目は「原材料高」の17.2%、3番目に高い項目は「売上受注不振」の15.7%、4番目に高い項目は「人件費高騰」の12.1%となり、経営上の問題点のトレンドは前回と同じ傾向となっており、引き続きトレンドは継続すると推察されます。また、前回比増減が大きい項目として、「人件費高騰」が12.1%と前回比プラス2.8ポイント、前年同月比4.3ポイントとなっており増加傾向にあります。

トランプ米政権の関税について

回答企業数	406社（うち、製造業87社、非製造業319社）
調査企業数	643社
調査時期	2025年7月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

※本アンケートは7月初旬に実施。日米関税交渉（15%）合意前に集計。

トランプ米政権の関税に関するアンケートでは、「米国との取引は直接、間接ともに行っていない」と回答した企業が88.7%と多く、現時点ではどのような影響がでるかわからないため、関税引き上げに備えた対策に関して、現段階では具合的な対策が取られていない企業が大半を占める結果となりました。

一方で、トランプ米政権の関税政策の事業への影響で、「現時点で影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」と「既に影響が出ている」を合わせると約2割の企業に影響がでる可能性があります。

「仕入コスト増による利益の減少」、「国内消費・投資マインドの低下による受注・売上減」、「輸出需要減もしくは生産調整等を背景とした売上の減少」等、経営への幅広い影響が懸念されています。

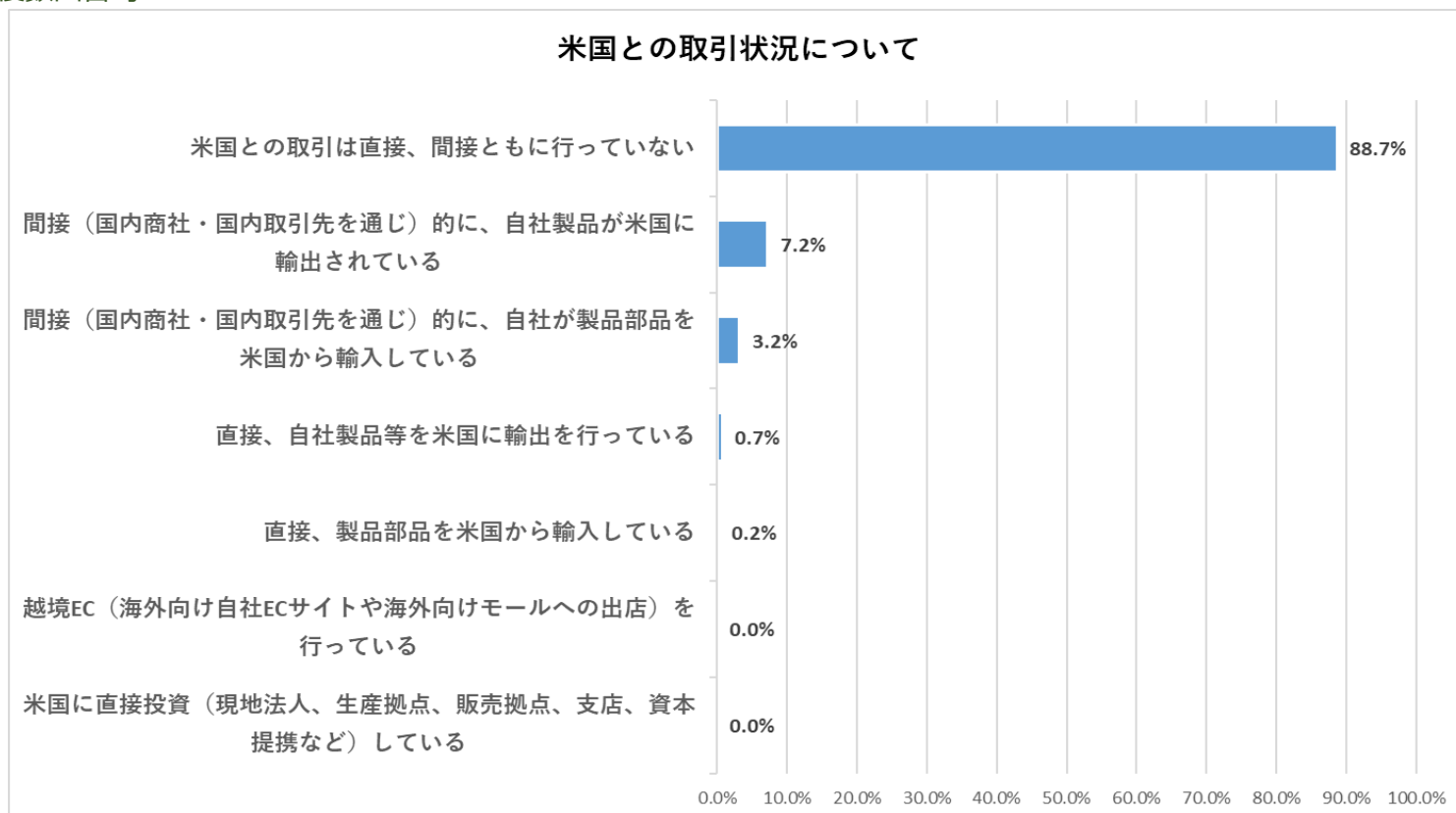
関税引き上げへの対応策として、「価格転嫁の検討」、「コスト削減」、「新たな仕入先や市場の開拓」、「予防的な運転資金の確保」等、複数の手段を織り交ぜた対応が窺えます。

金融機関に求める支援策については、「事業や雇用維持に向けた給付金・助成金・制度の情報」、「資金繰り・調達支援」が多く、「新たな仕入先や市場の開拓支援」は10%と、追加関税を受けて事業計画の見直しおよび再編に着手する企業がまだ少ないと示唆されます。

トランプ米政権の関税について

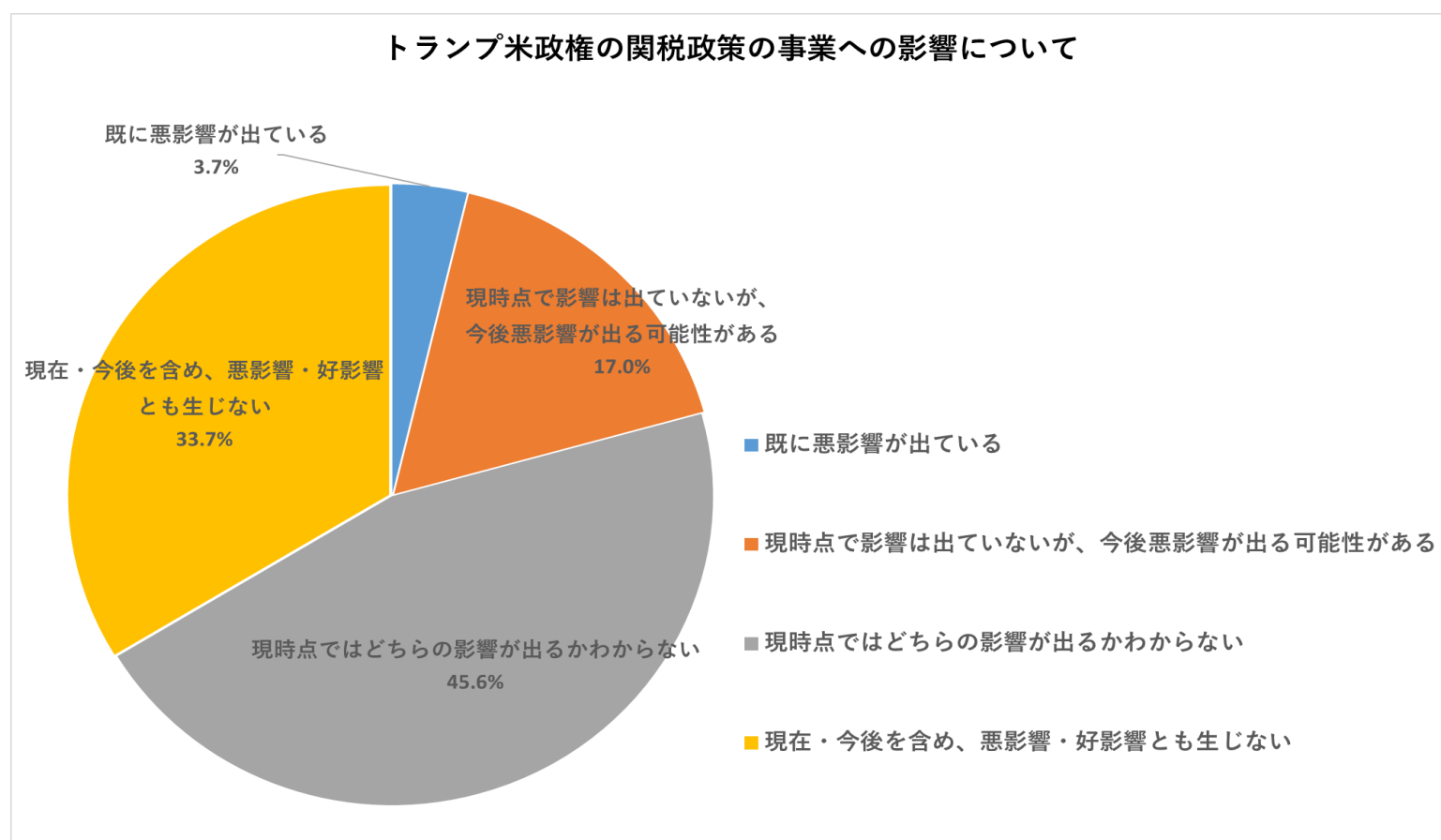
設問1：米国との取引状況について

※複数回答可



「米国との取引は直接、間接ともに行っていない」と回答した企業が88.7%と最も多く、次いで「間接的に、自社製品が米国に輸出されている」が7.2%、「間接的に、自社が製品部品を米国から輸入している」が3.2%、「直接、自社製品等を米国に輸出を行っている」が0.7%、「直接、製品部品を米国から輸入している」が0.2%となっています。

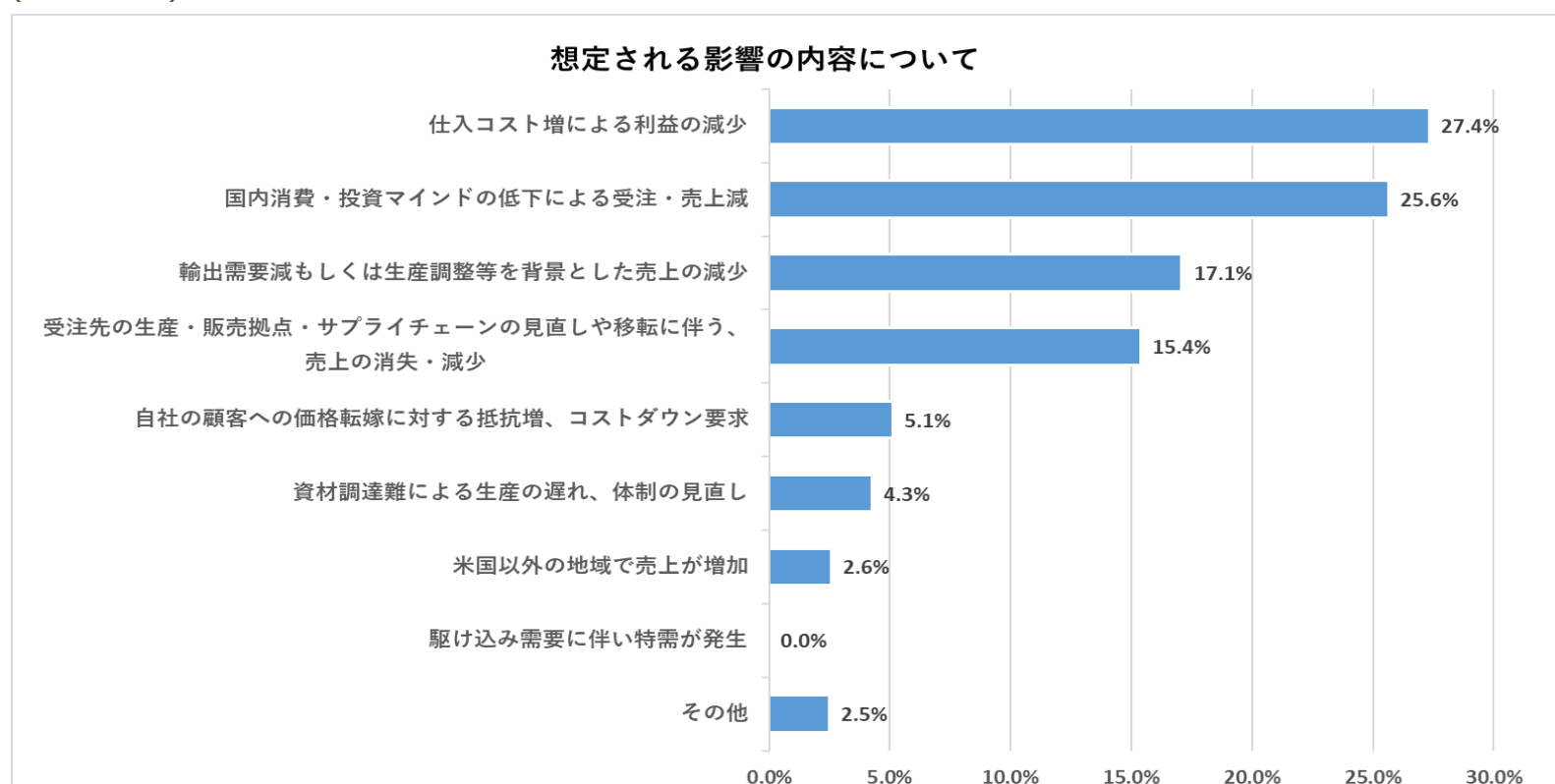
設問2 : トランプ米政権の関税政策の事業への影響について



「現時点ではどちらの影響が出るかわからない」と回答した企業が45.6%と最も多く、次いで「現在・今後を含め、悪影響・好影響とも生じない」が33.7%、「現時点で影響は出ていないが、今後悪影響が出る可能性がある」が17.0%、「既に悪影響が出ている」が3.7%となっています。

設問3 : 想定される影響の内容について

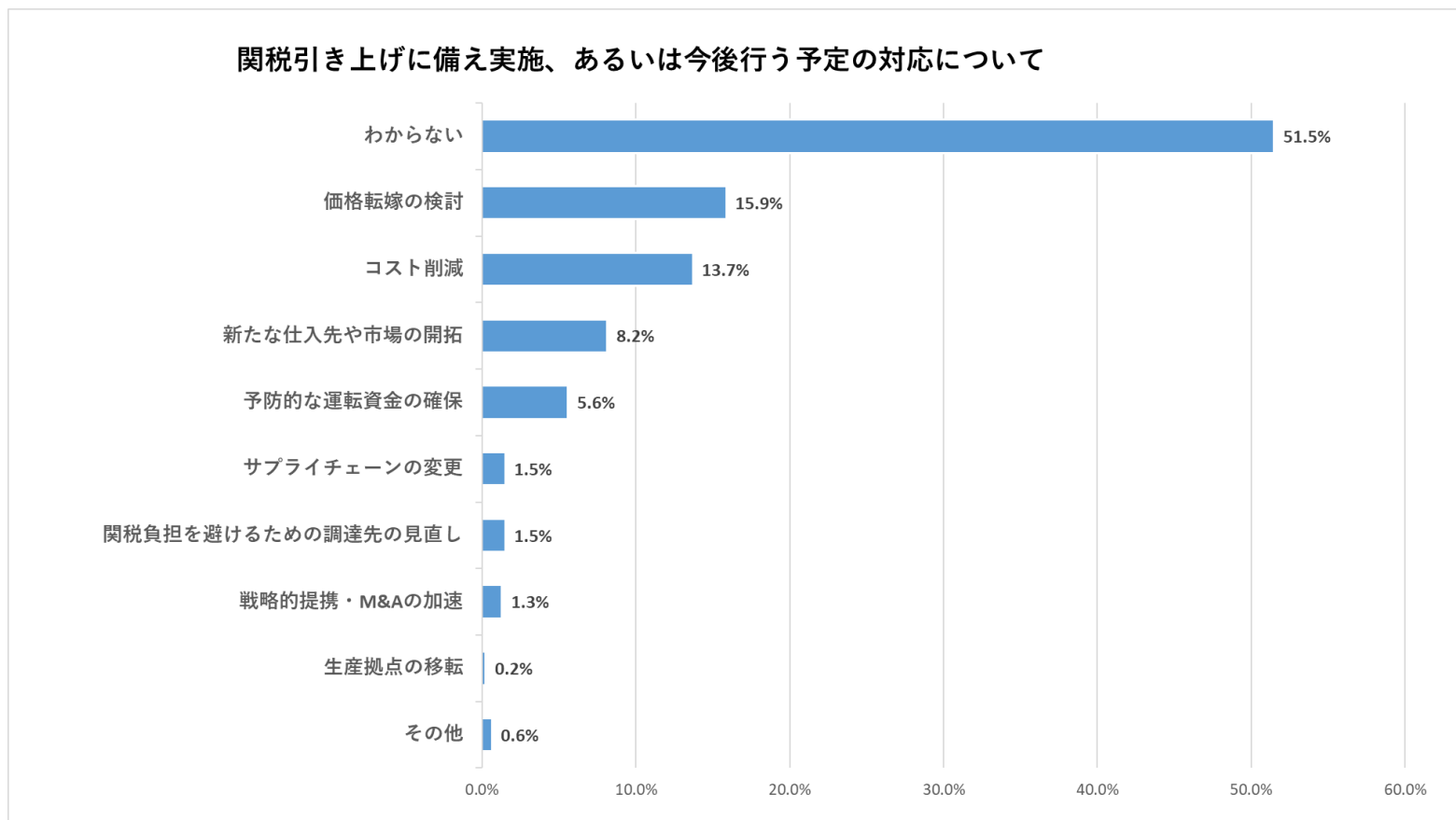
※設問2で「既に悪影響がでている」、「現時点で影響は出ていないが、今後悪影響が出る可能性がある」と回答された方のみ回答(複数回答可)



「仕入コスト増による利益の減少」と回答した企業が27.4%と最も多く、次いで「国内消費・投資マインドの低下による受注・売上減」が25.6%、「輸出需要減もしくは生産調整等を背景とした売上の減少」が17.1%、「受注先の生産・販売拠点・サプライチェーンの見直しや移転に伴う、売上の消失・減少」が15.4%、「自社の顧客への価格転嫁に対する抵抗増、コストダウン要求」が5.1%、「資材調達難による生産の遅れ、体制の見直し」が4.3%、「米国以外の地域で売上が増加」が2.6%となっています。

設問4： 関税引き上げに備え実施、あるいは今後行う予定の対応について

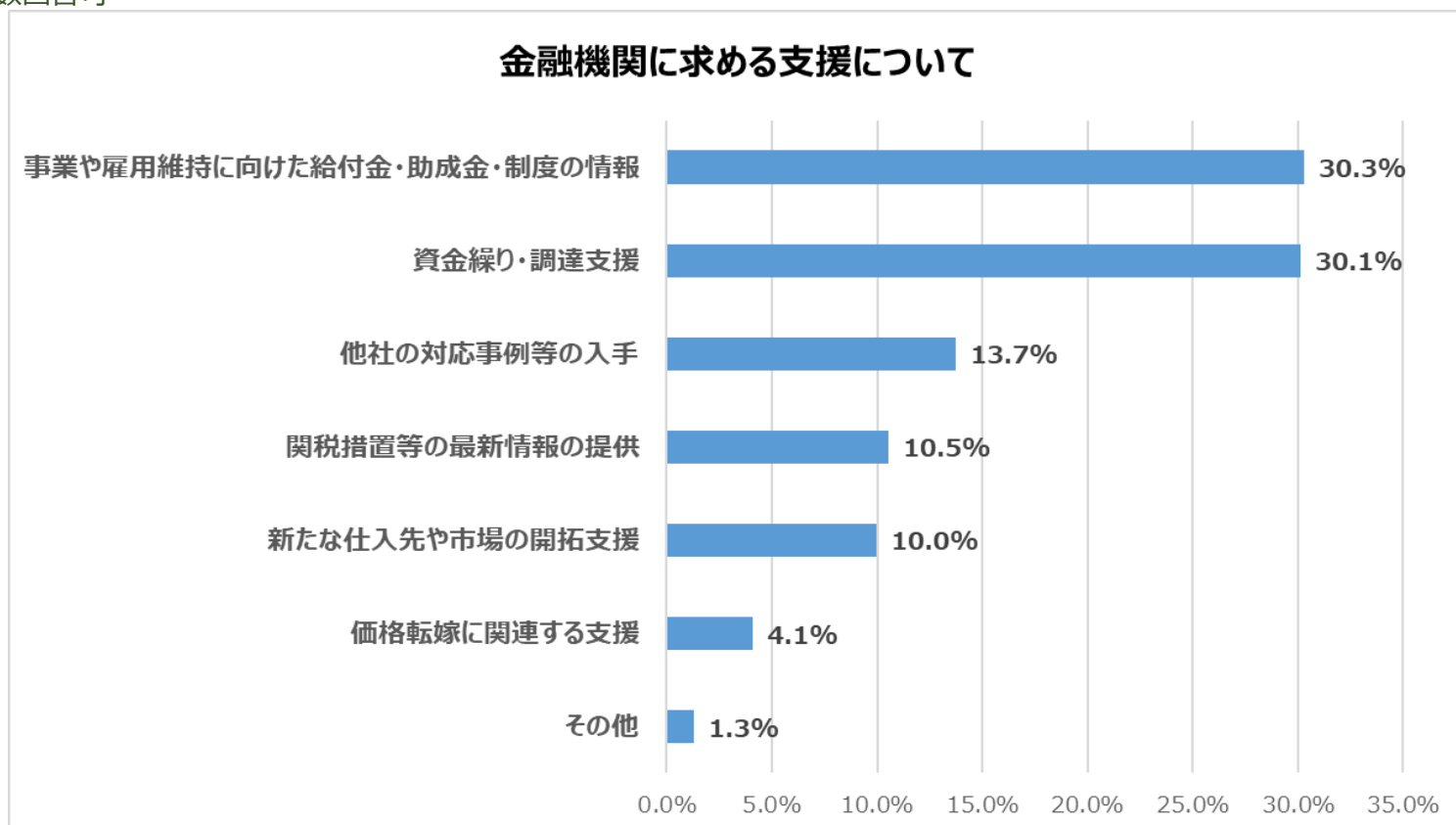
※複数回答可



「わからない」と回答した企業が51.5%と最も多く、次いで「価格転嫁の検討」が15.9%、「コスト削減」が13.7%、「新たな仕入先や市場の開拓」が8.2%、「予防的な運転資金の確保」が5.6%、「サプライチェーンの変更」が1.5%、「関税負担を避けるための調達先の見直し」が1.5%、「戦略的提携・M & Aの加速」が1.3%、「生産拠点の移転」が0.2%となっています。

設問5： 金融機関に求める支援について

※複数回答可



「事業や雇用維持に向けた給付金・助成金・制度の情報」と回答した企業が30.3%と最も多く、次いで「資金繰り・調達支援」が30.1%、「他社の対応事例等の入手」が13.7%、「関税措置等の最新情報の提供」が10.5%、「新たな仕入先や市場の開拓支援」が10.0%、「価格転嫁に関連する支援」が4.1%となっています。

コンサルティングサービス

富山第一銀行コンサルティングの特徴

100社以上のコンサルティング支援実績

オーダーメイド型の
伴走支援

地域やお取引先との
幅広いネットワーク

成長戦略策定支援サービス

- 中期経営計画・経営戦略策定
- 新事業展開・事業再構築戦略策定
- 経営理念・経営ビジョン策定
- 企業のあるべき姿・全社戦略・事業戦略策定
- マーケティング・ブランド戦略策定

経営改善支援サービス

- 売上拡大に向けた課題整理と改善策の策定
- 原価管理体制の構築、業務効率化支援
- 部門別・販売先別などの収益管理の見える化
- 工程別の課題抽出と生産管理体制の構築
- ミス・ロス低減に向けた改善策の検討

各種補助金申請の ご支援

- 事業再構築補助金、
ものづくり補助金など
各種補助金の申請支援

コンサルティング サービス (伴走支援)

BCP計画策定 サポートのご支援

- 自然災害などの緊急
事態に備えた事業継続
計画の策定支援

DXコンサルティングのご支援

- 業務棚卸、フローの見える化による課題抽出と
解決策の検討
- 勤怠管理、労務管理、在庫管理、販売管理、
収益管理、営業管理などのDX化支援
- 入出金業務、給与計算、経費精算などの業務
効率化サポート

人事評価制度・組織体制の強化 ・人材育成のご支援

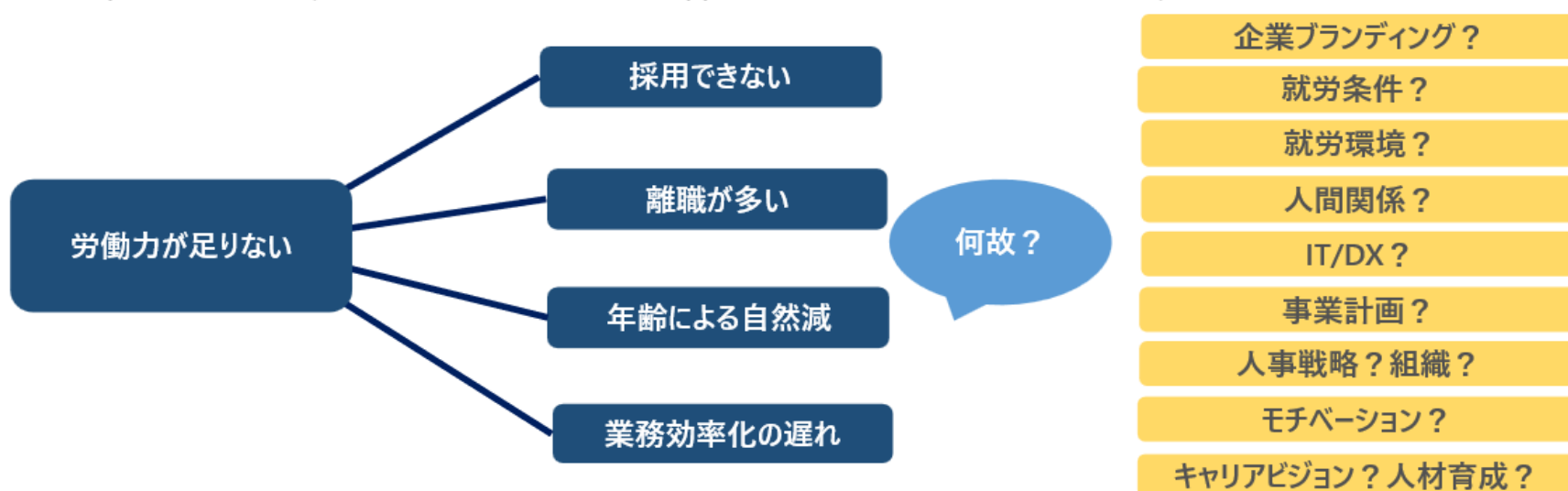
- 人事評価制度の導入・改定
- 賃金体系の策定
- 従業員満足度（ES）向上策の策定
- 従業員向けアンケート調査・個別面談の実施
- 社員向け経営計画発表会の開催
- プロジェクトチーム（PT）の運営サポート

このようなお困りごとございませんか

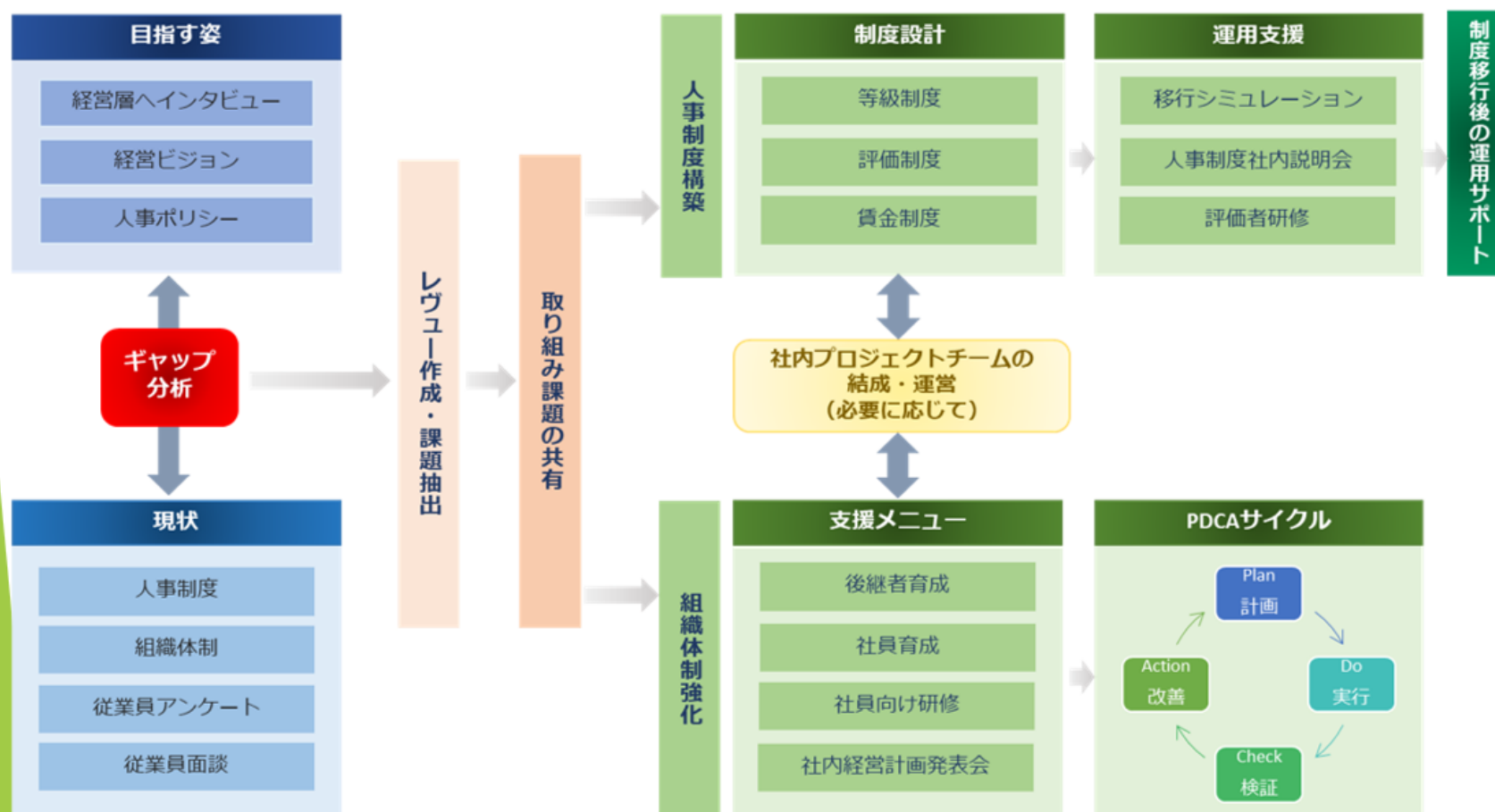
- ◆ 社員の採用ができない、採用した社員が定着しない
- ◆ 賃金テーブル、評価する基準がなく、社長の裁量で昇給をしている
- ◆ 人事制度はあるが、永年見直しをせずに運用を続けている
- ◆ 会社の求める人材、役割、スキルを明確にしたい
- ◆ 社員の働くモチベーションを高めたい
- ◆ 会社の経営方針を社員と共有出来ていない
- ◆ 後継者、幹部社員候補の育成が進んでいない

貴社の人事・組織に関するお困りごとの整理、解決に向けた支援に取り組みます

- ▶ 単に人材の課題においてもなぜ？を繰り返すことで見えてくる課題は様々です。

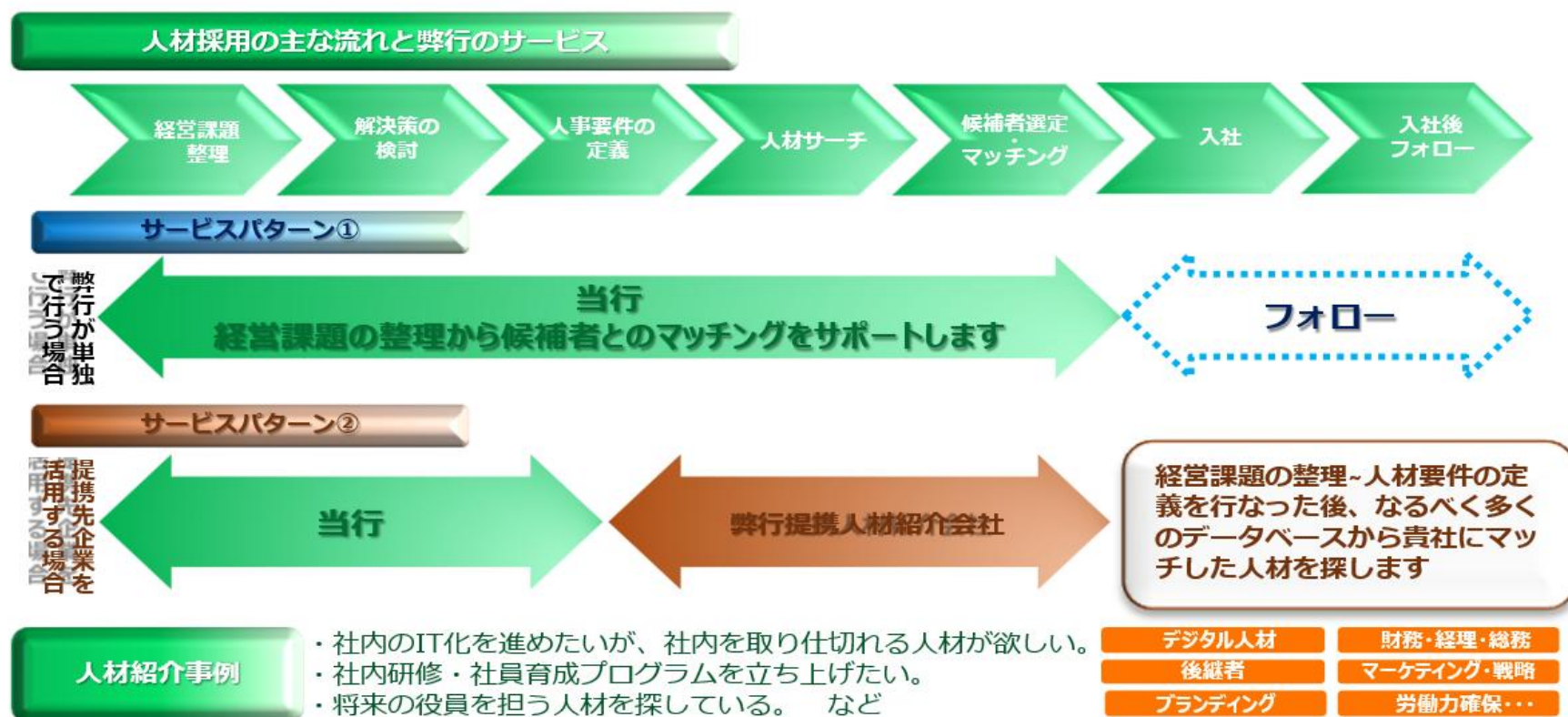


- ▶ 経営陣の皆様・社員の皆様との対話を大切に、課題解決に伴走いたします。



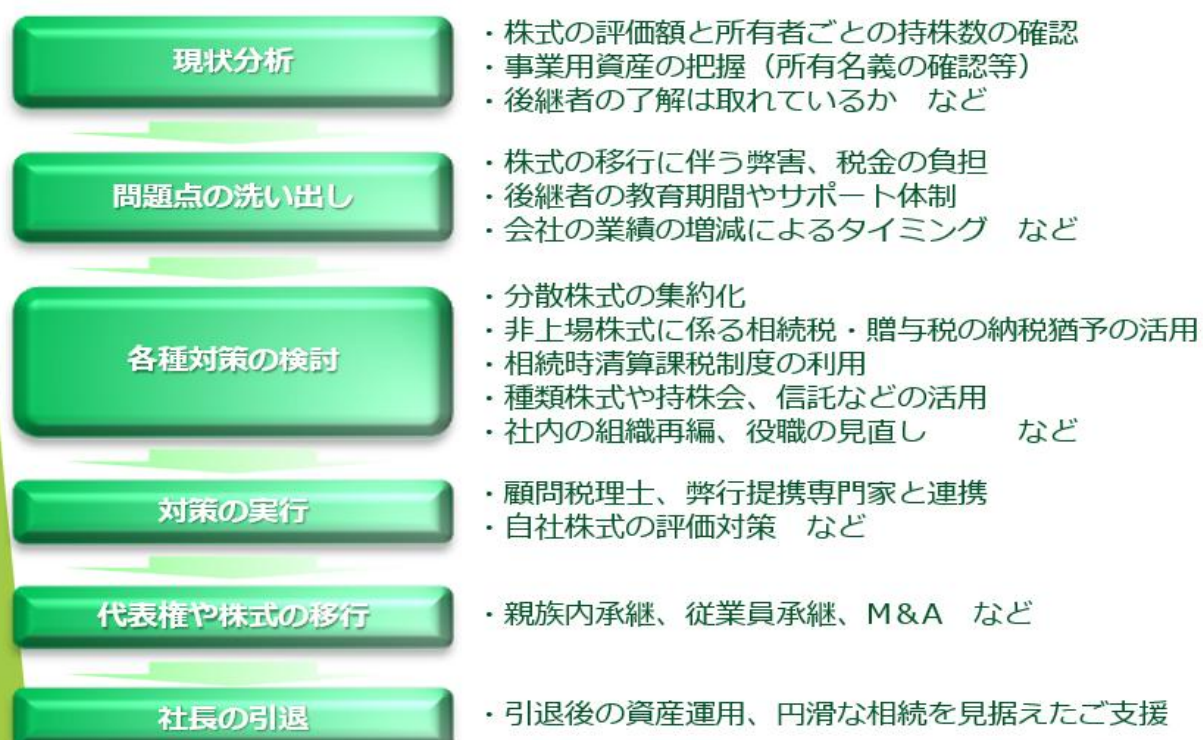
人材紹介

お客さまの経営課題を深く理解し、その解決のために必要な人材募集のお手伝いをさせていただきます。弊行並びに人材紹介を行なう弊行提携先企業の幅広いデータベースの中から最適な人材をご紹介します、貴社の事業拡大・課題解決等をサポートいたします。



事業承継、M&A

事業承継に悩む経営者様に寄り添い、承継に向けた課題抽出から課題解決、承継完了まで全面的にご支援させていただきます。数多くの取組実績を基にした実例から、各経営者様にとって最適な承継支援を実現いたします。



入り口から出口
までのご支援を
いたします

中小企業のお悩みに効く！

 富山第一銀行

売上UP

どうすれば…

販路拡大

方法は…

後継者

決められない…

人材育成

進まない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。



富山第一銀行

<https://www.first-bank.co.jp/business/>